

体験して 備える



災害時には、一瞬の判断や行動により生死が分かれることがあります。

日頃から避難場所を確認したり、避難経路を実際に歩いたり、避難訓練に参加するなどの体験が大切な『備え』となり、とっさの行動にもつながります。

皆さんは、町内会などが主体となつて、地域で開催する防災訓練や防災研修会へ参加したことはありますか。

地域で開催する防災訓練などは、地震や津波などの際、どの避難場所にも、どのような経路で避難すれば良いかなどを確認できるだけでなく、近くに住む方との交流の機会になり、いざというときにも互いに助け合うことのできる、災害に強い地域をつくりまします。

また、市は、大規模な地震や津波などを想定し、総合防災訓練を2年に一度実施しており、7月に令和初となる総合防災訓練を警備地区で行いました。今回の訓練では、防災行政無線のサイレンの聞こえ方などを確認

したほか、地震発生から避難所運営までの流れなどを幅広い世代が体験。そのほか、災害用伝言ダイヤル（171）や非常用発電機の使い方などを学べるさまざまな体験型のブースが数多く設置され、各町内会をはじめとする多くの市民の方の参加がありました。

いざというときに自分や家族の身を守るよう、日頃から積極的に、訓練などへの参加をお願いします。

知って 備える



登別市は、海や山、川など、自然豊かなまちであると同時に、さまざまな自然災害が発生する可能性があります。

災害や災害規模に応じた適切な避難行動を速やかにとれるよう、自分が住んでいる地域に、どのような災害が発生する可能性があるのかをあらかじめ把握しておきましょう。

市は、津波が発生したときに浸水が想定される地域や高台避難場所、洪水・土砂災害が発生したときに被害が出ると想定される地域などをまとめた『登別

市防災マップ』などを発行しています。

また、NTTタウンページ株式会社と共同作成した

『のぼりべつ市民便利帳（2019年8月発行）』には、『津波浸水防災マップ』のほか、救急医療機関やAED設置場所などの、災害時に役立つ情報などを掲載していますので、家族で見直してみましよう。

そして、いざというとき速やかに避難できるよう、ラジオやインターネットなど、最新かつ正確な防災情報を入力する手段を確認して、備えてください。

※『登別市防災マップ』、『のぼりべつ市民便利帳』

は、発行時にお配りしたほか、市役所や各支所で随時配布しています。市公式ウェブサイトに掲載していますので、活用ください。



▲のぼりべつ市民便利帳



▲登別市防災マップ

防災情報を警戒レベルでお知らせします



平成30年7月に発生し、豪雨災害としては平成最大の人的被害となった西日本豪雨を教訓として、内閣府は避難勧告に関するガイドラインを改定しました。

市は、災害に対する警戒度合いなどを直感的に理解しやすくなるよう、5段階の『警戒レベル』でお知らせしますので、警戒レベルに応じた行動などをご確認ください。

※警戒レベルが高くなったときは、市が防災行政無線などで、冒頭に『警戒レベル』と『とるべき行動』をお知らせします。

◎警戒レベルに応じた避難行動など

警戒レベル	避難行動など	防災気象情報など
5	命を守るための最善の行動をとってください	すでに災害が発生
4	災害が発生する恐れが極めて高い状況です。速やかに避難してください	土砂災害警戒情報、はん濫危険情報など
3	避難の準備を整え、避難に時間を要する方は避難を開始してください	大雨警報（土砂災害）、はん濫警戒情報など
2	避難に備え、避難行動を確認してください	大雨注意報、はん濫注意情報など
1	気象情報をこまめに確認し、災害への心構えを高めましよう	早期注意情報（警報級の可能性）など

地震に備える



いつ、どこで起こるか分からない地震。日頃から備蓄品などを確実に準備し、避難経路や安否確認の方法などを家族と確認

して備えておくことが大切です。大きな地震は、さまざまな二次災害を引き起こします。その一つが『津波』です。強い揺れだけではなく、弱い場合でも、長い揺れは津波を発生させる可能性があります。